

成果に向けて即実践！連続5回WS

『地域の共感』を 『成果』につなげる



NPOのための 組織力強化ワークショップ



「忙しくて寄付集めができない」「団体の持続性に不安がある…」

「活動をうまく伝えることができない」「もっと地域の人と一緒に活動したい！」

過疎高齢化・子どもの貧困・災害など地域が抱える課題が顕在化するなか、その解決に挑むNPOへの期待は今後ますます高まっていくといわれています。急速に変化する社会に対応しNPO本来の力を発揮して活動するには、団体の組織基盤強化はもちろん地域のリソースの活用も不可欠です。

NPOが地域の共感を直接的な支援に変えて活動し成果につなげていくために、このワークショップでは組織力強化の基本となる「ビジョンとミッションの整理」「自団体の価値の言語化・ステークホルダーの見える化」のワークを経て、WS終了後すぐに実践できるファンドレイジング計画を完成させることを目指します。

(ワークは団体ごとに行っていただきます。必ず複数名でお申し込み・ご参加ください)

対 象 | 千葉県内で活動するNPO等の公益活動団体で、
全5回の連続WSに毎回2名以上で参加できる団体
※募集团体数 5団体

**ファシリ
テーター** | 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

参加費 | 1団体につき20,000円(全5回分)

主 催 | 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

詳細・お申し込みは
裏面をご覧ください

全5回いずれも

会場 | 千葉市生涯学習センター 大研修室

(千葉市中央区弁天3-7-7 千葉駅から徒歩8分)

各回の中に課題が出る場合があります



スケジュールと主な内容

* day1, day2 のみ、終了時間は 17:00 です

* 内容は変更となる場合があります

day 1	9/29 木 13:30-17:00	・オリエンテーション ・事例紹介① ・NPOにおける成果とは ワーク1 <ビジョンとミッションの整理> 組織力強化のキホンのキ。ワーク2.3に向けてビジョンとミッションを深掘りします
day 2	11/1 火 13:30-17:00	・事例紹介② ワーク2 <関係者マップづくり> 自団体におけるステークホルダーを見える化し、そこから事業の提供価値を考えます
day 3	12/13 火 13:30-16:30	・ファンドレイジング基礎 (ファンドレイジングとは / NPO と一般のビジネスとの違い / 財源を知る / 寄付と助成金 / ドナーピラミッドとペルソナ) ワーク3-1 <ファンドレイジング計画をつくる> ワーク1.2の学びや気づきをもとに、実行可能なファンドレイジング計画をつくります
day 4	1/17 火 13:30-16:30	・ファンドレイジングの実践に向けて (自団体に適した広報を考える など) ワーク3-2 <ファンドレイジング計画をつくる> 実践をイメージしながらワーク3-1で作成した計画を見直し、磨きます
day 5	2/20 月 13:30-16:30	参加団体による成果発表 作成したファンドレイジング計画をもとに実践し、その成果を発表していただきます

ファシリテーター

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

2012年、多くの市民からの寄付により、千葉県初の市民コミュニティ財団として設立。県内の地域課題を「見える化」し、その解決に取り組む市民公益活動団体へ資金を繋ぐことで、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでいる。

【実績】(2022年3月現在)

- 寄付総額 5800万円
- 助成総額 1億6600円/173事業
- ・ファンドレイジング伴走支援
- ・組織基盤強化伴走支援
- ・地域円卓会議ファシリテーション(松戸市・市原市)
- ・コレクティブインパクト事業案件形成 など

事例紹介①

NPO法人報徳の会・内田未来楽校

2013年、取り壊しの危機にあった市原市宿の元内田小学校を保存するために地域住民・支援者を中心に任意団体「報徳の会」を設立。5年計画で校舎を買収することとし、「内田未来楽校」の運営を開始した。2014年、いちばらアート×ミックスの会場のひとつとなり期間中約6300名が来場。地域で採れた野菜や地域の方が作った手芸品の販売、さらに協力団体によるパン・お菓子類の販売、喫茶の開催などを行い活動資金の確保にも努めている。また、地域資源である里山、水路、畑を活用した事業にも取り組んでいる。2018年、NPO法人化。

事例紹介②

NPO法人ワーカーズコレクティブういず

2004年、任意団体として発足。2011年、NPO法人化。「人と人を結ぶまちづくり」をテーマに子育て支援、高齢者生活支援、地域交流スペース事業(街の縁側・居場所事業)の3本を柱に活動している。2020年9月、休眠預金活用事業緊急支援枠『地域連携型アフターコロナ事業構築』(資金分配団体:ちばのWA地域づくり基金)にて、「キッチンカーでGO!〜どこでもこども食堂&暮らしのサポート」が採択。柏市の松葉町と大津ヶ丘を拠点に、市のこども福祉課や児童委員、民生委員、地域包括支援センター、地元農家等と連携しながら活動している。

◆お申し込み方法



左のQRコードまたはお問合せに記載のメールアドレスに以下を明記のうえお申し込みください

- ①団体名
- ②電話番号(携帯電話など日中つながる番号)
- ③活動分野・内容
- ④参加人数
- ⑤参加者全員のお名前と役職名
- ⑥参加の目的、団体や活動に感じている課題

◆お問い合わせ

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金
千葉市中央区春田1-20-15 篠原ビル301

✉ info@chibanowafund.org

☎ 043-239-5335 9:30~17:30
土日祝 休み

ちばのWA



で検索